

社会科学学習指導案

I 単 元 暮らしを守る ー事こや事けんから暮らしを守るー

II 考 察

1 教材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

(4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学，調査したり資料を活用したりして調べ，人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

ア 関係機関は地域の人々と協力して，災害や事故の防止に努めていること。

イ 関係の諸機関が相互に連携して，緊急に対処する体制をとっていること。

(2) 伸ばしたい主な資質・能力

- ・地域の安全を守る諸活動に関心を持ち，意欲的に調べ，安全な生活の維持について考えようとする態度
- ・地域の安全を守る関係機関の働きやそこに従事する人々の工夫や努力を考える力
- ・地域の安全を守る諸活動を見学，調査したり，具体的資料を活用したりして，必要な情報を集めて読み取ったり，まとめたりする力
- ・安全を守るための関係機関の働きやそこに従事する人々の工夫や努力を理解する力

(3) 教材や学習対象の価値

本単元では，人々の安全を守るための警察署などの関係機関や地域の活動，交通事故の問題などを対象として学習を行う。その価値は，以下のとおりである。

警察署は自分たちの安全な生活を守る頼もしい存在であり，多くの機関と連携することで安全な生活の維持と向上に努めている。また，地域の人々も安全運動や防犯活動に取り組み，協力して生活を守っている。これらの事象を追究することは，警察署などの関係機関の働きやそこに従事する人々や地域の人々が様々な工夫や努力をして，安全な生活を守っているという公助，共助の働きを理解することができる。

一方，身の回りで起こる交通事故発生についての問題は尽きない現状もある。事故のない安全な生活の実現について考えることは，自らも地域の安全な生活を協力して守っていく大切さに気付くことができ，よりよい社会の一員となる礎を築くことにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は，4年「水はどこから」で，飲料水に関わる対策や事業が人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは，4年「火災から暮らしを守る」において，防火に関わる施設やそこに従事する人々の取組を見学・調査し，消火や防火の工夫や努力について話し合う学習をしてき

た。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・防火に関わる施設やそこに従事する人々の取組と自分の生活とを関連付けて考えられるようになってきている。このような子どもたちが、警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々の取組と自分の生活とを関連付けて考えられるように、事故や事件を防ぐための取組を図に表す活動を設定する。
- ・消防の仕事が組織的・協力的に進められていることを理解してきている。このような子どもたちが、警察署などの関係機関と地域の人々によって安全な生活が守られていることや、その維持や向上のためには自分たちの協力も大切であることを理解できるように、群馬県の子どもの交通事故減少の可否について話し合う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画

※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- ねらい 群馬県の子どもの交通事故減少の可否について、事故の原因に関わる資料を基に話し合うことを通して、安全な生活を実現していくためには自分たちの協力も大切であることを理解する。
- 準備 歩行者・自転車の事故原因 事故の起きやすい時間帯を示す資料等
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<ol style="list-style-type: none"> 本時のめあてをつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・増えてしまう年も出てくると考えたけど、友達はどうのように考えたのかな。 事故減少の可否について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料からは、歩行者、自転車とも安全確認をしないことが多いとわかるな。 ・友達はできると言ったけど、違反しなかった時も起きているから難しいな。 ・群馬県の警察や地域の人たちの努力だけで済む問題ではないな。 ・事故を減らすために、自分たちを含むすべての人が協力することが何より大切ということではないかな。 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったらできると感じてきたな。でも、自分たちの行い次第だな。 ・事故をなくしていくために、必ずルールを守るなど協力していきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返るよう促すとともに、本時の活動や話し合いに必要な情報を問いかける。 ○子どもの事故減少の可否について、資料を基に小集団で話し合うよう促す。 ○小集団で決めた立場や判断した理由を学級全体で伝え合うよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">安全な生活を実現していくためには自分たちの協力も大切であることを記述したり、発言したりしている。</p> <p style="text-align: center;"><ノート・発言（2）></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合ったことを基に、課題に対する自分なりの考えを決定するよう促す。 ○安全な生活を実現するために、自分たちが協力できることを振り返りとして記述していることを賞賛する。

指導と評価の計画（全8時間）

目標	警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の工夫や努力を考え、それらが組織的・協力的に進められ、人々の安全な生活の維持と向上に役立っていることを理解する。			
評価規準	<p>(1) 事故や事件から人々の安全を守る工夫や努力に関心を持ち、意欲的に調べたり、市民の一員として安全な生活をつくることに協力しようとしていたりしている。</p> <p>(2) 事故や事件から人々の安全を守る工夫や努力について、課題や予想、学習計画を考えたり、警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の工夫や努力と市民の生活とを関連付けて考えたりして、表現している。</p> <p>(3) 警察署の施設や設備などを観点に沿って調査したり、資料を活用して必要な情報を集めたりして、調べたことをまとめている。</p> <p>(4) 警察署などの関係機関が地域の人々と協力して事故や事件の防止に努めていることや、そこに従事する人々が様々な工夫や努力をしていること、安全に対する一人一人の意識を高めることにより、市民の安全な生活が維持・向上されることを理解している。</p>			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は、研究に関わる手立て）	評価項目＜評価方法（観点）＞
課題をつかむ	1	<p>○これまでの生活経験、事故や事件の資料などから疑問点や調べたいことを考え、課題意識をもつ。</p> <p>共通課題</p> <p>わたしたちの生活を事故や事件から、誰がどのようにして守っているのだろう。</p>	<p>○自分たちの安全な生活と事故や事件との関わりについて疑問点や調べたいことが考えられるように、事故や事件現場を目撃したときの様子について話し合う場を設定したり、交通事故処理の様子を示す資料を提示したりする。</p>	<p>◇自分たちの安全な生活と事故や事件との関わりについて疑問点や調べたいこと記述している。</p> <p>＜ノート（1）＞</p>
	1	<p>○警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の取組について予想し、調べる計画を立てる。</p> <p>＜調べる観点＞・警察の施設や活動 ・地域の安全施設や人々の活動</p>	<p>○追究の見通しがもてるように、警察の通信指令室の様子や地域の交番の数、交通指導員やP T A活動の写真、子ども110番の家や交通標識の資料などを提示する。</p>	<p>◇生活の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の取組などについて予想し、記述している。</p> <p>＜ノート（2）＞</p>
追究する	2	<p>○警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の取組について調べる。</p>	<p>○警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の取組について具体的に調べられるように、警察の取組に関する図書資料のコーナーを設置する。</p>	<p>◇警察署などの関係諸機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の取組について、観点に沿って調べている。</p> <p>＜ノート（3）＞</p>
	2	<p>○自分たちの生活が事故や事件から守られている仕組みや取組について話し合う。</p>	<p>○警察署などの関係機関の働きとそこに従事する人々や地域の人々の工夫や努力を整理して捉えられるように、調べたことを図に表す活動を設定する。</p>	<p>◇警察署などの関係機関や地域の人々が自分たちの安全を守るために様々な工夫や努力をしていることを記述したり、発言したりしている。</p> <p>＜ノート・発言（4）＞</p>
まとめる	1	<p>○群馬県の子どもたちの交通事故の現状を知り、新たな課題意識を持ち、課題に対する自分の立場を決める。</p> <p>共通課題</p> <p>群馬県の子どもたちの交通事故を毎年減らし続けることはできるか。</p>	<p>☆交通事故の発生に対する課題意識をもつことができるように、過年度の群馬県の子どもの交通事故の発生件数の推移を示す資料を提示する。</p>	<p>◇既習内容や生活経験を基に、群馬県の子どもの交通事故減少の可否についての立場と理由を記述したり、発言したりしている。</p> <p>＜ノート・発言（1）＞</p>
	1	<p>○群馬県の子どもの交通事故減少の可否について話し合い、安全な生活と自分たちの関わりについてまとめる。（本時）</p>	<p>☆事故を減らし続けるために大切なことについて考えられるように、子どもの交通事故の原因に関する資料を提示する。</p>	<p>◇安全な生活を実現していくためには自分たちの協力も大切であることを記述したり、発言したりしている。</p> <p>＜ノート・発言（2）＞</p>